村田田号	 香	川高等朝	 評学校	開講年度 令和05年度(2023年度)	授業科目	数学 I C			
展達						1 1/1/11/11				
投票		LIDTK	1105		科目区分	—船 / 心				
協会ネットワーク工学科 (2019年度以降入学 対象学年 1 適性 適性 適時配致 前期:0 後期-4 表別等の対 14人、11+8 114人、11+8 114人 114人、11+8 114人 114						-				
銀印本 14 本 15 + 15 + 15 + 15 + 15 + 15 + 15 + 15			通信ネット	トワーク工学科(2019年度以降入学			. 2			
報料書・大日本図書「新基礎数字」/問題集:大日本図書「新基礎数字問題集」/参考書:啓林館「Fo 担当教育 上原 成功 到達目標	盟設期		— <i>i</i>		 调時問数	前期・∩ 後	· 胡· 4			
担当教員 担係成功 到達目標		 材	教科書: カ			•				
1. 集合作の第四人間する基本事項を理解している 1. 集合作の第四人間する基本事項を理解している 1. 報告の権力に関する基本事項を理解している 1. 特別の機能に関する基本事項を理解している 2. 地グブリック	担当教員									
理想的な到達レベルの目安	到達目標 1.集合や6 2.関数と2 3.指数関数 4.対数関数 5.順列と	命題に関す グラフに関 数に関する 数に関する 組合せに関	る基本事項を する基本事項 基本事項を理り 基本事項を理り	を理解している 解している 解している						
理価項目1 集合や命題を吸えて、諸問題に適用して解を養き出せる 開致とグラフを取って、諸問題に対している 開致とグラフを取って、諸問題に対している 開致とグラフを関する 関致とグラフに関する基本事項を理解している 開致とグラフを関する 提供している 開致とグラフに関する基本事項を理解している 開致とグラフを関する 関致とグラフに関する基本事項を理解している 開致とグラフを関する 関連化している 指数対数関数を諸問題に適用して解を 海き出せる 対数を理解して、対数に対する関数に関する基本事項を理解している 順列と組合せを諸問題に適用して解を 海き出せる 対数度を理解している 順列と組合せを諸問題に適用して解を 海き出せる 対対を 理解している 順列と組合せた諸問題に適用して解を 海き出せる 対数度を理解している 順列と組合せた諸問題に適用して解を 第4年事項を理解している 原発を連合して、対象を理解している 原発を対象である。 担当教育方法等 概要 第5と合節、開致とグラフ、指数関数に対数関数について学習する。これらの項目の学習を通して、教育方法等 概要 第5と重視的な考察力を養成する。担当教育を成功する。担当教育をよいは担当教育の解析で確認した後、基本事項を理解を認ることもに、教科書や多書子 におり組む は解説により理解を認めることの思に、答案の書き方を学ぶためにも用いる。補助滞留部底に対して教育が必ずである オフィスアワー・月曜日放課後 ファクティブラーニング ロイエ利用 ロ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある 授業計画 週週 担望	ルーブリ	<u> </u>								
### 15	評価項目1			集合や命題を扱えて, 諸問題に適	集合や命題に関		未到達レベルの目安 集合や命題について理解していな い			
評価項目3	評価項目2			関数とグラフを扱えて,諸問題に 適用して解を導き出せる	関数とグラフに「 理解している	関する基本事項を	関数とグラフについて理解していない			
評価項目4	評価項目3				, 指数関数に関	拡張を理解して する基本事項を理	指数の実数への拡張について理解 していないか、または指数関数に ついて理解していない			
評価項目5	評価項目4				対数を理解して、る基本事項を理解	, 対数関数に関す 解している	対数について理解していないか , または対数関数について理解し ていない			
教育方法等	評価項目5				順列と組合せに「理解している	関する基本事項を	順列について理解していないか , または組合せについて理解して いない。			
無合と命題、関数とグラフ,指数関数と対数関数について学習する。これらの項目の学習を通して、数	学科の到	<u>」達目標</u> 」	頁目との関係	系						
無合と命題、関数とグラフ,指数関数と対数関数について学習する。これらの項目の学習を通して、数	教育方法	等								
□ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある 授業計画	注意点		基本事項を は解説によ により今後 習が必須で オフィスア	・予習あるいは担当教員の解説で確認 にり理解を深めることの他に,答案の 後の数学学習に必要な計算力の向上を ごある。	書き方を学ぶため	にも用いる。補助	演習書および担当教員作成プリント			
□ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある 授業計画	授業の属	属性・履信 かんしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	多上の区分 しょうしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい							
週 授業内容 週ごとの到達目標 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 11週 12週 11週 12週 13週 14週 15週 15週 16週 16』 16週 16』 1				□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	<u>,</u>	□ 実務経験のある教員による授業			
週 授業内容 週ごとの到達目標 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 15週 15週 15週 15週 16週 160回 1										
週 授業内容 週ごとの到達目標 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 15週 15週 15週 15週 16週 160回 1	授業計画	Ī.								
1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 13週 14週 15週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 16週 15週 16週 16週 19			週 抄			週ごとの到達目標	<u> </u>			
1stQ		1stQ		22/3/2/2		,				
1stQ 1stQ 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 15週 16週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 1月四日 1月回日 1月回日										
1stQ 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15週 16週 16週 10週 16週 16週 10週 16週 10週 16週 10週 16週 100回 1										
1stQ 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 16週 1月週 1月月										
10週										
7週 8週 9週 10週 11週 12週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 1月週 集合と命題の基本事項を理解する。D 2週 対偶, 背理法/不等式の証明 集合と命題の基本事項を理解する。D 3週 2次関数と2次方程式, 2次関数と2次不等式 2次不等式を解くことができる。D1:1										
8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 1月週 1月月 1月月										
10週										
2ndQ 2ndQ 10週 11週 12週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 1月週 集合と命題の基本事項を理解する。D 2週 対偶, 背理法/不等式の証明 集合と命題の基本事項を理解する。D 3週 2次関数と2次方程式,2次関数と2次不等式 2次不等式を解くことができる。D1:1 2次 2次 2次 2次 2次 2 2次 2 2次 2 2次 2 2 2 2	前期		-							
2ndQ 11週 12週 13週 14週 15週 16週 1週 集合/命題,条件,否定 集合と命題の基本事項を理解する。D 2週 対偶,背理法/不等式の証明 集合と命題の基本事項を理解する。D 3週 2次関数と2次方程式,2次関数と2次不等式 2次不等式を解くことができる。D1:1		2ndQ								
2ndQ 12週 13週 14週 15週 16週 集合と命題の基本事項を理解する。D 2週 対偶, 背理法/不等式の証明 3週 2次関数と2次方程式, 2次関数と2次不等式 2x内容式を解くことができる。D1:1			H							
13週			11週							
13週			12週							
15週 16週 16週 集合/命題,条件,否定 集合と命題の基本事項を理解する。D 2週 対偶,背理法/不等式の証明 集合と命題の基本事項を理解する。D 3週 2次関数と2次方程式,2次関数と2次不等式 2次不等式を解くことができる。D1:1			13週							
15週 16週 16週 第合/命題,条件,否定 集合と命題の基本事項を理解する。D 2週 対偶,背理法/不等式の証明 集合と命題の基本事項を理解する。D 3週 2次関数と2次方程式,2次関数と2次不等式 2次不等式を解くことができる。D1:1			14週							
16週 1週 集合/命題,条件,否定 集合と命題の基本事項を理解する。D 2週 対偶,背理法/不等式の証明 集合と命題の基本事項を理解する。D 3週 2次関数と2次方程式,2次関数と2次不等式 2次不等式を解くことができる。D1:1			15週							
1週 集合/命題,条件,否定 集合と命題の基本事項を理解する。D 2週 対偶,背理法/不等式の証明 集合と命題の基本事項を理解する。D 3週 2次関数と2次方程式,2次関数と2次不等式 2次不等式を解くことができる。D1:1										
2週 対偶, 背理法/不等式の証明 集合と命題の基本事項を理解する。D 3週 2次関数と2次方程式, 2次関数と2次不等式 2次不等式を解くことができる。D1:1 後期 3rdO	後期	3rdQ	1 -			生合と命題の其者				
3週 2次関数と2次方程式,2次関数と2次不等式 2次不等式を解くことができる。D1:1 後期 3rdO										
後期 3rdO ペラス フェス フェス フェス フェス フェス フェス フェス フェス フェス フェ										
				2次関数と2次万程式,2次関数と2次 べき関数,分数関数	<u>小寺工</u>	2次不寺式を解くことができる。D1:1-3 べき関数や分数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。D1:1-3				
			5週 無			無理関数や逆関数の性質を理解し、グラフをかくこと				

6週		いろいろな関数の演習				いろいろな関数について基本的な問題に適用できる。					
						D1:1-3					
	7週						累乗根を求めることができる。D1:1-2				
		8週 定期試験 9週 試験返却,指数の拡張 100 10								けい計質がで	⇒3 D1:1-2
			,			指数の拡張を理解して基本的な計算ができる。D1:1-2 指数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる					
4thQ		10週					D1:1,2				
		11ì	周	対数				対数の意味を理解し、対数を利用した計算ができる。 D1:1-3			
		12ì	2週 対		対数関数			対数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。			
		13週 場		場合の	場合の数, 順列			順列を理解し,基本的な問題に適用できる。D1:1-3			
		14ì	<u>周</u>	組合t	組合せ,二項定理			組合せを理解し、基本的な問題に適用できる。D1:1-3			
					寅習						
16週 定期試験											
	アカリニ	<u> </u>		学習	内容と到達					1	
分類			分野		学習内容	学習内容の到達目標 到達レベル 授業					/ 授業週
		数学			2次関数の性質を理解し、グラフをかくことができ、最大値・最小値を求めることができる。				3	後3	
				数学	分数関数や無理関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。				3	後4	
					簡単な場合について、関数の逆関数を求め、そのグラフをかく <i>こ</i> とができる。			'をかくこ	3	後5	
					累乗根の意味を理解し、指数法則を拡張し、計算に利用することができる。			けること	3	後7,後9	
基礎的能力	数学				指数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。				3	後10	
						指数関数を含む簡単な方程式を解くことができる。				3	後10,後15
						対数の意味を理解し、対数を利用した計算ができる。			3	後11	
					対数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。				3	後12	
						対数関数を含む簡単な方程式を解くことができる。				3	後12
						積の法則と和の法則を利用して、簡単な事象の場合の数を数える ことができる。			を数える	3	後13
						簡単な場合について、順列と組合せの計算ができる。 3 後1				後13,後14	
評価割合											
	試験		発表		相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計		
総合評価割合 9		90		5		0	5	0	0	100	
		90		5		0	5	0	0	100	
		0		0		0	0	0	0	0	
分野横断的能力		0		0		0 0		0	0 0		